



だいぜんじ

「目標」って、やっぱり大事なんですね！

保護者の皆様、地域の皆様のご理解ご協力のおかげで、無事“スマートな運動会”を実施することができました。ほんとうにありがとうございました。制限された中での凝縮された6年生の演技している真剣な姿、それをしっかり見て応援している5年生の姿を見て、感動して思わず涙があふれました。また、どの学年も、子どもたちが、自身で決めた「目標」をしっかりと意識して取り組んでいることがよくわかりました。短くても、出番が少なくても、「目標」が定まっていればこんなに充実したものになるということを改めて実感しました。

今日の放送全校朝会では、子どもたちに次のような話をしました。

『これから行っていく日頃の学習もそうです。1時間1時間「めあて」を決めています。「めあて」は誰がつくるのでしょうか？先生ですか？いいえ、「めあて」はあなたたちがつくるのです。もちろん、先生は「こうしたらどう？」とは言って下さると思うけど、あなたたちが、やりたいこと、できるようにしたいこと、を決めるのです。』

「手紙」や「メール」要注意です！

先日、ソフトバンクの周東選手が、立て続けに2つのエラーをしてベンチに戻って涙を流すという場面がありました。それを見ていた今離脱している今宮選手が、元気づけるメールを送り、周東選手はそれで励まされ、次の試合では見事大活躍をしたという記事が掲載してありました。

一方、相手の悪口や嫌がらせの言葉を手紙やメールにしてしまったことで、「人の心を傷つけてしまった、友達関係がぎくしゃくしてしまった」という事案が、残念ながら、本校の子どもたちの中でも起こっています。

手紙やメールは、使い方次第で、とてもいいものにも恐ろしい凶器にもなり得るということをご家庭や地域の中でも、ぜひご指導ください。

笑う門には福来る！

運動会の1週間くらい前だったでしょうか。子どもたちの元気と笑顔が欲しくて、ささやかな「笑い」を披露することにしました。コロナ禍なので、仕方なくビデオ収録して放送で流すことになりました。「博多にわか」をやりました。

♪「今年の運動会はどこが優勝するやろね？」「う～ん、どうかいね～」(^o^)

♪「玉入れは、どげんしたらいっぱいカゴに入ることができるかね？」

「そげん欲張ったらいかん。たま～に入ればよか！」(^o^)

こんな感じです。あとから何人もの子どもたちが「おもしろかったよ」と言いに来てくれたので、私も救われました。

医者の斎藤茂太さんという方の「笑うとなぜいいか？」という著書に、『上手に「笑い」と付き合えれば、人間力も免疫力も確実にアップする。「笑い」は人生の特効薬であり万能薬なのだ。』と書かれてあります。ストレス、不安、心配の絶えない世の中ではありますが、だからこそ、「ささやかな喜びを心の糧にする生き方ができるといいな」と自分自身に言い聞かせています。

